

事前伺い

[平成22年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

山形大学 農学部 食料生命環境学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山形大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部経営企画ユニット

職名・氏名 室長・^ア安部 ^{カズヒロ}和仁

電話番号 023-628-4190

（夜間） 023-628-4190

F A X 023-628-4849

e-mail kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	28
4	教員組織の状況	29
5	その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山 形 大 学

(2) 大学名

山 形 大 学

(3) 大学の位置

〒997-8555
山形県鶴岡市若葉町1番23号
(〒990-8560)
(山形県山形市小白川町一丁目4番12号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
農学部 食料生命環境学科 学士(農学)	4年	155人	— 年次人	620人	

(注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
A 入学定員	(-)人 155	()人	()人	()人	1.07倍	
志願者数	(-)人 488	()	()	()		
受験者数	(-)人 482	()	()	()		
合格者数	(-)人 183	()	()	()		
B 入学者数	(-)人 166	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	(-)人 1.07	()	()	()		

- (注) ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備考
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
1年次	[2] 166	[]	[]	[]	
2年次	[]	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[2] 166	[]	[]	[]	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [一] 0	計 [2] 166	[- %] 0.0 %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 166人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		
平成25年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 安全農産物生産学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2 4	1					教育内容充実のため教員追加(22)
	農学最前線	1前		2		1 2 5	4					兼3 15 オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		6						オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	安全農産物生産学概論	1後	2			9	6					オムニバス
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			5 4						兼1 オムニバス 教育内容充実のため教員追加(22)
	食品・応用生命科学概論	1後	2			5	6					オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	植物機能開発学概論	1後	2			5	3		1			オムニバス
	森林科学概論	1後	2			6	5		1			オムニバス
	水士環境科学概論	1後	2			3						オムニバス
	基礎農学セミナー 基礎農学実習	1集中	2			6						教育内容見直しのため科目名称変更(22)
専門科目	食料生命環境学実験実習	2前	2			6						
	遺伝学	2前	2				1					
	基礎土壌学	2前	2			2	1					
	基礎生態学	2前	2			3	1					
	情報処理演習-I	2後	2			1						
	キャリア形成論	2集中	1									兼1 教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)
	農家体験実習	1集中		2		9	6					
	雪山実習	2集中		1								兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
	環境保全型エコ農業論	2集中	2									兼3
	教育方法・技術	2集中		2								兼4 教育内容見直しのため専門科目から削除(教養科目として開講)(22)
	インターンシップ(学外実習)	3集中		2			1					
	山形フィールド科学-I	1-2-3-4集中		2			3					教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
	山形フィールド科学-II	1-2-3-4集中		2			3					教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中		2			1						
公開森林実習	1-2-3-4集中		1								教育内容充実のため科目追加(22)	
卒業論文	4通	10				30 32	22 23		5 6		人事異動のため(後任補充予定のため問題はない)	
コース必修科目	安全農畜産物生産論 ☆	2前	2			2	1					
	環境農学論 ☆	2前	2			3						
	生物統計学 ☆	2前	2				1					
	畜産学 ☆	2前	2			1	1					
	環境保全型農業栽培学 ☆	2前	2			2						
	野外科学	2前	1			9	6					
	フィールドサイエンス実験実習-I A	2前	2			9	6					
	フィールドサイエンス実験実習-I B	2前	2			9	6					
	外国語講読演習-I	2前	2			9	6					
	基礎植物学 ☆	2後	2			1	1					
	食農環境経営学 ☆	2後	2				1					兼1
	水田作物学 ☆	2後	2			1						
	植物病理学 ☆	2後	2			1						
	基礎園芸学	2後	2			2	1					
	安全農産物生産学基礎実験	2後	2			9	6					
	外国語講読演習-II	2後	2			9	6					
	安全農産物生産学研究調査演習-I	3前	2			9	6					誤記のため訂正
	安全農産物生産学コース実験実習	3前	2			9	6					
	フィールドサイエンス実験実習-II	3前	2			9	6					
	情報処理演習-II	3前	2			9	6					
応用昆虫学 ☆	2後	2			1	1						
安全農産物生産学実験実習	3後	2			9	6						
安全農産物生産学研究準備演習	3後	2			9	6						
安全農産物生産学研究演習-I	4前	2			9	6						
安全農産物生産学研究演習-II	4後	2			9	6						

専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	安全農産物生産機械学 ☆	2後	2	1							
		基礎植物栄養学 ☆	2後	2	1	1						
		農産物品質学 ☆	2後	2	1							
		植物育種学 ☆	2後	2	1							
		家畜生理学	2後	2	1	1						
		食農環境経済学 ☆	3前	2	1							
		ポストハーベスト学 ☆	3前	2	1							
		地球環境論 ☆	3前	2	1					1		
		生物環境物理学 ☆	3前	2								
		在来植物資源学 ☆	3前	2							1	
		地域活性化論 ☆	3前	2	1						2	
		植物感染病学 ☆	3前	2							1	
		食農環境政策学 ☆	3前	2								兼1
		食農環境システム論 ☆	3前	2								兼1
		農産物生理学 ☆	3前	2	1							
		環境保全型栽培土壌学	3前	2	1	1						
		家畜管理学	3前	2								兼1
		畑作物学 ☆	3後	2	2							
		総合昆虫管理学	3後	2	1							
		家畜安全飼養学	3後	2	1	1						
		実用英語	3後	2	9	6						
		フィールド調査法	3後	2	1							
		総合植物病害防除論	3後	2	1	1						
		花卉園芸学	3後	2		1						
		安全農産物生産学特講-I	3後	2	9	6						
		果樹園芸学	3後	2	1							
		科学リテラシー演習	3後	2	9	6						
		野菜園芸・施設学	3後	2	1	1						
		安全農産物生産学特講-II	4前	2	9	6						
		国際フィールド協力論 ☆	2集中	2								兼1
		家畜育種学	3集中	2								兼1
		畜産物利用学	3集中	2								兼1

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 教 育 科 目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2								
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2								
		人間を考える	1前・後	2								
	文化と社会	哲学	1前・後		2							
		倫理学	1前・後		2							
		芸術学	1前・後		2							
		文学	1前・後		2							
		言語学	1前・後		2							
		歴史学	1前・後		2							
		地理学	1前・後		2							
		文化論	1前・後		2							
		法学	1前・後		2							
		日本国憲法	1前・後		2							
		政治学	1前・後		2							
		経済学	1前・後		2							
		社会学	1前・後		2							
		心理学	1前・後		2							
	教育学	1前・後		2								
	教養セミナー	1前・後		2								
	自然と科学	数理学	1前・後		2							
		物理学	1前・後		2							
		化学	1前・後		2							
		生命科学	1前・後		2							
		地球環境学	1前・後		2							
		科学技術論	1前・後		2							
	教養セミナー	1前・後		2								
	応用と学際	応用科学	1前・後		2							
		情報科学	1前・後		2							
		生活科学	1前・後		2							
		多文化交流	1前・後		2							
		芸術実技	1前・後		2							
	キャリア形成論	1前・後		2								

基盤教育科目		学際・総合 教養セミナー	1前・後	2							
		山形に学ぶ	1前・後	2							
	共通科目	コミュニケーション・ スキル1	英語C	1前・後	2						
			英語R	1前・後	2						
		コミュニケーション・ スキル2	初修外国語	1前・後	2						
			健康・スポーツ	スポーツ実技	1前・後	1					
		健康・スポーツ	健康・スポーツ科学	1前・後	2						
	情報リテラシー	情報処理	1前・後	2	2					教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(22)	
	展開科目	地域から学ぶ	2・3・4前	2							
		先輩から学ぶ	2・3・4後	2							

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 46	科目 79	科目 0	科目 125	科目 45	科目 78	科目 0	科目 123	
				[△1]	[△1]	[0]	[△2]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。
 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 食農環境マネジメント学コース>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 基 礎 科 目	農学入門	1前		2		2 1	1					教育内容充実のため教員追加 (22)
	農学最前線	1前		2		1 2	1					兼3 15 オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		5 6						オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	安全農産物生産学概論	1後	2			9	6					オムニバス
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			5 4						兼1 オムニバス 教育内容充実のため教員追加(22)
	食品・応用生命科学概論	1後	2			5	6					オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	植物機能開発学概論	1後	2			5	3		1			オムニバス
	森林科学概論	1後	2			6	5		1			オムニバス
	水土環境科学概論	1後	2			3						オムニバス
	基礎農学セミナー 基礎農学実習	1集中	2			6						教育内容見直しのため科目名称 変更(22)
専 門 科 目	食料生命環境学実験実習	2前		2		6						
	遺伝学	2前		2			1					
	基礎土壌学	2前		2		2	1					
	基礎生態学	2前		2		3	1					
	情報処理演習-I	2後		2		1						
	キャリア形成論	2集中	1									兼1 教育内容充実・見直しのため配当年次及び 単位数変更、教員追加(22)
	農家体験実習	1集中	2			9	6					
	雪山実習	2集中	1									兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
	環境保全型エコ農業論	2集中	2									兼3
	教育方法・技術	2集中	2									兼4 教育内容見直しのため専門科目から削除 (教職科目として開講)(22)
	インターンシップ(学外実習)	3集中	2			1						
	山形フィールド科学-I	1・2・3・4集中	2				3					教育内容見直しのため専門科目から削除 (教養教育として開講)(22)
	山形フィールド科学-II	1・2・3・4集中	2				3					教育内容見直しのため専門科目から削除 (教養教育として開講)(22)
国際理解(海外研修)	1・2・3・4集中	2			1							
公開森林実習	1・2・3・4集中	1									教育内容充実のため科目追加 (22)	
卒業論文	4通	10				30 32	22 23		5 6		人事異動のため(後任補充予定 のため問題はない)	
コ ー ス 必 修 科 目	農村計画学 ☆	2前		2			1					
	安全農畜産物生産論 ☆	2前		2		2	1					
	環境農学論 ☆	2前		2		3						
	地域活性化論 ☆	2前		2		1	2					
	食農環境政策学 ☆	2前		2								兼1
	食農環境経済学 ☆	2前		2		1						
	食農環境マネジメント基礎実習	2前		2		2	2		1			
	食農環境経営学 ☆	2後		2			1					
	環境社会論 ☆	2後		2			1					
	地域・環境問題概論	2後		2					1			
	農村地域の歴史と生活	2後		2		1						
	農村地域の地理と環境	2後		2		1						
	データマイニング演習	2後	4			2	2		1			
	コミュニティビジネス論 ☆	3前	2				1					
	食農環境会計学 ☆	3前	2				1					
	地域地理学 ☆	3前	2				1					
	食農環境地理学 ☆	3前	2				1					
	食農環境システム論 ☆	3前	2									兼1
食農環境調査論	3前	2			1							
社会統計と農業の経済分析	3前	2							1			
フィールドリサーチ実習	3前	2			2	2		1				
地域プロジェクト演習	3後	4			2	2		1				
食農環境マネジメント応用演習	4前	4			2	2		1				

専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	地球環境論 ☆	2前	2	1										
		流域保全論 ☆	2前	2										兼1	
		畜産学 ☆	2前	2	1	1									
		水田作物学 ☆	2後	2	1									兼1	
		森林文化論 ☆	2後	2						1					
		林業経済学 ☆	2後	2				1							
		外国書講読	2後	2	2	2				1					
		基礎植物学 ☆	3後	2	1	1									
		ストックマネジメント ☆	3後	2											兼1
		基礎食品生命科学 ☆	4前	2			1								
		食品規格と安全 ☆	2集中	2			1								
国際フィールド協力論 ☆	2集中	2											兼1		

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数					専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手					
基 盤 教 育 科 目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2											
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2											
		人間を考える	1前・後	2											
	文化と社会	哲学	1前・後		2										
		倫理学	1前・後		2										
		芸術学	1前・後		2										
		文学	1前・後		2										
		言語学	1前・後		2										
		歴史学	1前・後		2										
		地理学	1前・後		2										
		文化論	1前・後		2										
		法学	1前・後		2										
		日本国憲法	1前・後		2										
		政治学	1前・後		2										
		経済学	1前・後		2										
		社会学	1前・後		2										
	心理学	1前・後		2											
	教育学	1前・後		2											
	教養セミナー	1前・後		2											
	自然と科学	数理科学	1前・後		2										
		物理学	1前・後		2										
		化学	1前・後		2										
		生命科学	1前・後		2										
		地球環境学	1前・後		2										
		科学技術論	1前・後		2										
		教養セミナー	1前・後		2										
	応用と学際	応用科学	1前・後		2										
情報科学		1前・後		2											
生活科学		1前・後		2											
多文化交流		1前・後		2											
芸術実技		1前・後		2											
キャリア形成論		1前・後		2											
学際・総合		1前・後		2											
教養セミナー	1前・後		2												
山形に学ぶ	山形に学ぶ	1前・後		2											
共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2											
	英語R	1前・後	2												
	コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2										
	健康・スポーツ	スポーツ実技	1前・後		1										
	健康・スポーツ科学	1前・後		2											
情報リテラシー	情報処理	1前・後		2	2								教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(2)		
展開科目	地域から学ぶ	2・3・4前		2											
	先輩から学ぶ	2・3・4後		2											

(注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。

・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 40	科目 63	科目 0	科目 103	科目 39 [△1]	科目 62 [△1]	科目 0 [0]	科目 101 [△2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。</p>

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 食品・応用生命科学コース>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 基 礎 科 目	農学入門	1前		2		2 1	1					教育内容充実のため教員追加 (22)
	農学最前線	1前		2		1 2	1					兼3 15 オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		5 6						オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	安全農産物生産学概論	1後	2			9	6					オムニバス
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			4						兼1 オムニバス 教育内容充実のため教員追加(22)
	食品・応用生命科学概論	1後	2			5	6					オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	植物機能開発学概論	1後	2			5	3		1			オムニバス
	森林科学概論	1後	2			6	5		1			オムニバス
	水土環境科学概論	1後	2			3						オムニバス
	基礎農学セミナー 基礎農学実習	1集中	2			6						教育内容見直しのため科目名称 変更(22)
専 門 科 目	食料生命環境学実験実習	2前		2		6						
	遺伝学	2前		2			1					
	基礎土壌学	2前		2		2	1					
	基礎生態学	2前		2		3	1					
	情報処理演習-I	2後		2		1						
		2集中	1									兼1
	キャリア形成論	1集中	2			6						教育内容充実・見直しのため配当年次及び 単位数変更、教員追加(22)
	農家体験実習	1集中		2		9	6					
				1								兼1
	雪山実習	2集中		2								教育内容見直しのため単位数変更(22)
	環境保全型エコ農業論	2集中	2									兼3
	教育方法・技術	2集中		2								兼4 教育内容見直しのため専門科目から削除 (教職科目として開講)(22)
	インターンシップ(学外実習)	3集中		2		1						
山形フィールド科学-I	1・2・3・4集中		2		3						教育内容見直しのため専門科目から削除 (教養教育として開講)(22)	
山形フィールド科学-II	1・2・3・4集中		2		3						教育内容見直しのため専門科目から削除 (教養教育として開講)(22)	
国際理解(海外研修)	1・2・3・4集中		2		1							
公開森林実習	1・2・3・4集中		1								教育内容充実のため科目追加 (22)	
卒業論文	4通	10				30 32	22 23		5 6		人事異動のため(後任補充予定 のため問題はない)	
コ ー ス 必 修 科 目	基礎食品生命科学 ☆	2前		2		1						
	基礎微生物学 ☆	2前		2		1						
	基礎分子生物学 ☆	2前		2			1					
	基礎生化学 ☆	2前		2		1						
	基礎動物生理学 ☆	2前		2		1	1					
	生命環境学 ☆	2前		2		1						
	人体と健康科学 ☆	2前		2			1					
	微生物生理機能学 ☆	2後		2			1					
	バイオマス資源学	2後		2		1						
	食品・応用生命科学実験-I	2後		2		5	6					
	食品衛生学 ☆	3前		2			2					
	食品・応用生命科学実験-II	3前		2		5	6					
	食品・応用生命科学専門外国語演習-I	3前		1		5	6					
	食品・応用生命科学実験-III	3後		2		5	6					
	食品・応用生命科学研究法演習-I	3後		2		5	6					
	食品・応用生命科学専門外国語演習-II	3後		1		5	6					
	情報処理演習-II	3後		2		5	6					
食品・応用生命科学専門外国語演習-III	4前		1		5	6						
食品・応用生命科学研究法演習-II	4前		2		5	6						
食品・応用生命科学専門外国語演習-IV	4後		1		5	6						
研究プレゼンテーション演習	4後		2		5	6						

専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	地球環境論 ☆	2前	2	1							
		基礎有機化学 ☆	2前	2	1							
		応用統計学 ☆	2前	2		1						
		植物化学 ☆	2後	2	1							
		植物生理学 ☆	2後	2			1					
		食品微生物学 ☆	2後	2				1				
		農産物品質学 ☆	2後	2	1							
		生物有機化学 ☆	2後	2	1							
		基礎植物栄養学 ☆	2後	2	1		1					
		細胞生化学 ☆	2後	2	1		1					
		植物育種学 ☆	2後	2	1							
		生命バイオ分析化学 ☆	2後	2				1				
		動物分子生殖学	2後	2	1		1					
		ポストハーベスト学 ☆	3前	2	1							
		生理活性物質化学 ☆	3前	2	1							
		微生物機能開発学 ☆	3前	2				1				
		食品機能化学 ☆	3前	2			1	1				
		安全農畜産物生産論 ☆	3前	2	2		1					
		分子栄養学 ☆	3前	2				1				
		遺伝子タンパク質工学 ☆	3前	2					3			
		動物発生工学	3前	2					1			
			2後									
		応用昆虫学 ☆	3後	2	1		1					教育内容見直しのため配当年次変更(22)
		食品規格と安全 ☆	2集中	2	1							
			4集中									
		公衆衛生学 ☆	3集中	2				1				教育内容見直しのため配当年次変更(22)
			4集中									
食品製造学 ☆	3集中	2	1							教育内容見直しのため配当年次変更(22)		
	4集中											
食品創製科学 ☆	3集中	2	1							教育内容見直しのため配当年次変更(22)		
	4集中											
家畜人工授精論	3集中	2	1							教育内容見直しのため配当年次変更(22)		
	4集中											
食品・応用生命科学特別講義	3集中	1								兼1 教育内容見直しのため配当年次変更(22)		
放射線概論 ☆	4集中	1								兼1		

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 教 育 科 目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2								
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2								
		人間を考える	1前・後	2								
	文化 と 社 会	哲学	1前・後		2							
		倫理学	1前・後		2							
		芸術学	1前・後		2							
		文学	1前・後		2							
		言語学	1前・後		2							
		歴史学	1前・後		2							
		地理学	1前・後		2							
		文化論	1前・後		2							
		法学	1前・後		2							
		日本国憲法	1前・後		2							
		政治学	1前・後		2							
		経済学	1前・後		2							
		社会学	1前・後		2							
		心理学	1前・後		2							
		教育学	1前・後		2							
	教養セミナー	1前・後		2								
	自然 と 科 学	数理科学	1前・後		2							
		物理学	1前・後		2							
化学		1前・後		2								
生命科学		1前・後		2								
地球環境学		1前・後		2								
科学技術論		1前・後		2								
教養セミナー	1前・後		2									

基盤教育科目	応用と学際	応用科学	1前・後	2							
		情報科学	1前・後	2							
		生活科学	1前・後	2							
		多文化交流	1前・後	2							
		芸術実技	1前・後	2							
		キャリア形成論	1前・後	2							
		学際・総合	1前・後	2							
		教養セミナー	1前・後	2							
	山形に学ぶ	山形に学ぶ	1前・後	2							
	共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2						
英語R			1前・後	2							
コミュニケーション・スキル2		初修外国語	1前・後	2							
健康・スポーツ		スポーツ実技	1前・後	1							
		健康・スポーツ科学	1前・後	2							
情報リテラシー	情報処理	1前・後	2	2						教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(22)	
展開科目	地域から学ぶ	2・3・4前	2								
	先輩から学ぶ	2・3・4後	2								

- (注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき, 設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 37	科目 81	科目 0	科目 118	科目 36 [△1]	科目 80 [△1]	科目 0 [0]	科目 116 [△2]	

- (注)・未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。</p>

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 植物機能開発学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2						教育内容充実のため教員追加(22)
	農学最前線	1前		2		1		1				兼3 15 オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		5						オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	安全農産物生産学概論	1後	2			6			6			オムニバス
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			5						兼1 オムニバス 教育内容充実のため教員追加(22)
	食品・応用生命科学概論	1後	2			4			5			オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	植物機能開発学概論	1後	2			5			6			オムニバス
	森林科学概論	1後	2			5			3		1	オムニバス
	水土環境科学概論	1後	2			6			5		1	オムニバス
	基礎農学セミナー 基礎農学実習	1後 1集中	2 2			3 6						オムニバス 教育内容見直しのため科目名称変更(22)
専門科目	食料生命環境学実験実習	2前	2			6						
	遺伝学	2前	2					1				
	基礎土壌学	2前	2			2		1				
	基礎生態学	2前	2			3		1				
	情報処理演習-I	2後	2			1						
	キャリア形成論	2集中	1									兼1 教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)
	農家体験実習	1集中	2			9		6				
	雪山実習	2集中	1									兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
	環境保全型エコ農業論	2集中	2									兼3
	教育方法・技術	2集中	2									兼1 教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)
	インターンシップ(学外実習)	3集中	2					1				
	山形フィールド科学-I	1-2-3-4集中	2					3				教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
	山形フィールド科学-II	1-2-3-4集中	2					3				教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中	2					1					
公開森林実習	1-2-3-4集中	1									教育内容充実のため科目追加(22)	
卒業論文	4通	10					30	22		5	人事異動のため(後任補充予定のため問題はない)	
コース必修科目	基礎有機化学 ☆	2前	2			1						
	応用統計学 ☆	2前	2					1				
	植物生理学 ☆	2後	2						4			教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)
	農産物品質学 ☆	2後	2			1						教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)
	生物有機化学 ☆	2後	2					4				教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)
	基礎植物栄養学 ☆	2後	2			1		1				
	植物化学 ☆	2後	2					4				教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)
	植物育種学 ☆	2後	2					1				
	土壌生物資源学	2後	2					4				教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)
	微生物資源利用学	2後	2							1		
	植物機能開発学コース実験-I	2後	2			3				1		
	科学英語リーディング	2後	2			5		3			1	
	生理活性物質化学 ☆	3前	2					4				教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)
	農産物生理学 ☆	3前	2					4				教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)
	在来植物資源学 ☆	3前	2						1			
植物分子育種学	3前	2					4				教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)	
植物栄養生理化学	3前	2					4	4			教育内容見直しのため科目区分をコース選択科目に変更(22)	

専 門 科 目	コース必修科目	植物機能開発学コース実験-Ⅱ	3前	2		2	2						
	コース選択科目	基礎食品生命科学 ☆	2前	2		1							
		基礎微生物学 ☆	2前	2		1							
		基礎分子生物学 ☆	2前	2			1						
		生命環境学 ☆	2前	2		1							
		人体と健康科学 ☆	2前	2			1						
		基礎生化学 ☆	2前	2		1							
		基礎動物生理学 ☆	2前	2		1	1						
		生命バイオ分析化学 ☆	2後	2			1						
		食品微生物学 ☆	2後	2			1						
		微生物生理機能学 ☆	2後	2			1						
		細胞生化学 ☆	2後	2		1	1						
		植物生理学 ☆ ※	2後	2			1						教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		生物有機化学 ☆ ※	2後	2			1						教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		植物化学 ☆ ※	2後	2			1						教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		土壌生物資源学 ※	2後	2			1						教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		生理活性物質化学 ☆ ※	3前	2			1						教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		農産物生理学 ☆ ※	3前	2			1						教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		植物分子育種学 ※	3前	2			1						教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		植物栄養生理化学 ※	3前	2		1	1						教育内容見直しのため科目区分をコース必修科目から変更し※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		微生物機能開発学 ☆	3前	2			1						
		食品機能化学 ☆	3前	2		1	1						
		分子栄養学 ☆	3前	2			1						
		遺伝子タンパク質工学 ☆	3前	2			3						
		食品衛生学 ☆	3前	2			2						
		バイオインフォマティクス演習 ※	3前	2									兼1 教育内容見直しのため※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		科学英語コミュニケーション ※	3前	2									兼1 教育内容見直しのため※印の科目のうち6科目の修得を義務づける変更を加えた(22)
		食品規格と安全 ☆	2集中	2		1							
		公衆衛生学 ☆	3集中	2			1						
		食品製造学 ☆	3集中	2		1							
		食品創製科学 ☆	3集中	2		1							
		放射線概論 ☆	4集中	2									兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2									
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2									
		人間を考える	1前・後	2									
	教養科目	文化と社会	哲学	1前・後	2								
			倫理学	1前・後	2								
			芸術学	1前・後	2								
			文学	1前・後	2								
			言語学	1前・後	2								
			歴史学	1前・後	2								
			地理学	1前・後	2								
文化論			1前・後	2									

基盤 教育 科目	教養科目	文化と社会	法学	1前・後	2																	
			日本国憲法	1前・後	2																	
			政治学	1前・後	2																	
			経済学	1前・後	2																	
			社会学	1前・後	2																	
			心理学	1前・後	2																	
			教育学	1前・後	2																	
			教養セミナー	1前・後	2																	
	自然と科学	数理科学	1前・後	2																		
		物理学	1前・後	2																		
		化学	1前・後	2																		
		生命科学	1前・後	2																		
		地球環境学	1前・後	2																		
科学技術論		1前・後	2																			
教養セミナー		1前・後	2																			
山形に学ぶ		山形に学ぶ	1前・後	2																		
共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語C	1前・後	2																		
		英語R	1前・後	2																		
	コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後	2																		
	健康・スポーツ	スポーツ実技	1前・後	1																		
		健康・スポーツ科学	1前・後	2																		
情報リテラシー	情報処理	1前・後	2	2																教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(22)		
展開科目	地域から学ぶ	2・3・4前	2																			
	先輩から学ぶ	2・3・4後	2																			

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 44	科目 73	科目 0	科目 117	科目 35 [△9]	科目 80 [7]	科目 0 [0]	科目 115 [△2]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。 学生への周知方法としては，修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し，オリエンテーションで説明するなどして，周知徹底を図っている。</p>

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 森林科学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 基 礎 科 目	農学入門	1前		2		2 4	1				教育内容充実のため教員追加 (22)
	農学最前線	1前		2		1 2 5	4				兼3 15 オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	食料生命環境学概論	1前		2		6					オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	安全農産物生産学概論	1後	2			9	6				オムニバス
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			5 4					兼1 オムニバス 教育内容充実のため教員追加(22)
	食品・応用生命科学概論	1後	2			5	6				オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)
	植物機能開発学概論	1後	2			5	3		1		オムニバス
	森林科学概論	1後	2			6	5		1		オムニバス
	水土環境科学概論	1後	2			3					オムニバス
	基礎農学セミナー 基礎農学実習	1集中	2			6					教育内容見直しのため科目名称 変更(22)
専 門 科 目	食料生命環境学実験実習	2前	2			6					
	遺伝学	2前	2				1				
	基礎土壌学	2前	2			2	1				
	基礎生態学	2前	2			3	1				
	情報処理演習-I	2後	2			1					
	キャリア形成論	2集中	1								兼1 教育内容充実・見直しのため配当年次及び 単位数変更、教員追加(22)
	農家体験実習	1集中		2		9	6				
	雪山実習	2集中		1							兼1 教育内容見直しのため単位数変更(22)
	環境保全型エコ農業論	2集中	2								兼3
	教育方法・技術	2集中		2							兼4 教育内容見直しのため専門科目から削除 (教職科目として開講)(22)
	インターンシップ(学外実習)	3集中		2			1				
	山形フィールド科学-I	1-2-3-4集中		2			3				教育内容見直しのため専門科目から削除 (教養教育として開講)(22)
	山形フィールド科学-II	1-2-3-4集中		2			3				教育内容見直しのため専門科目から削除 (教養教育として開講)(22)
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中		2			1					
公開森林実習	1-2-3-4集中		1							教育内容充実のため科目追加 (22)	
卒業論文	4通	10				30 32	22 23			5 6	人事異動のため(後任補充予定 のため問題はない)
コ ー ス 必 修 科 目	流域保全論 ☆	2前	2								兼1
	地球環境論 ☆	2前	2				1				
	生物多様性保全学	2前	2				1				
	森林資源利用学	2前	2				1	1			
	森林政策学	2前	2				1			1	
	森林科学総合実験実習	2前	2				6	5		1	
	林業経済学 ☆	2後	2					1			
	森林生態学 ☆	2後	2					1			
	森林化学	2後	2				1	1			
	森林情報学	2後	2				1				
	森林育成学	2後	2					1			
	森林測量学	3前	2					1			
	森林影響学	3後	2				1				
	森林保全利用計画学	3後	2				1				
	森林科学応用演習-I	3後	2				6	5		1	
森林科学応用演習-II	4前	2				6	5		1		
英書講読演習	4前	2				6	5		1		
コ ー ス 選 択 科 目	農村計画学 ☆	2前		2			1				
	生物環境物理学 ☆	2前		2					1		兼1
	食農環境経済学 ☆	2前		2			1				
	食農環境政策学 ☆	2前		2							
	基礎有機化学 ☆	2前		2			1				
	基礎植物学 ☆	2前		2			1	1			
	植物生理学 ☆	2後		2				1			
	環境社会論 ☆	2後		2				1			

専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	植物病理学 ☆	2後	2	1									
		砂防工学 ☆	2後	2		1								
		応用力学 ☆	2後	2		1								
		森林文化論 ☆	2後	2						1				
		森林フィールドサイエンス	2後	2		6	5			1				
		植物感染病学 ☆	3前	2			1							
		自然環境調査論	3前	2			1							
		森林資源化学	3前	2			1							
		海岸砂防学	3前	2		1								
		住宅市場論	3前	2			1							
		環境情報科学	3前	2		1								
		森林環境保全学	3前	2			1							
		森林GIS実習	3前	2		2								
		自然環境調査実験実習	3前	2		1	1							
			2後											
		応用昆虫学 ☆	3後	2		1	1							教育内容見直しのため配当年次変更(22)
		自然環境解析論 ☆	3後	2		1								
		樹木科学	3後	2		1	1							
		森林法律学	3後	2		1								
		森林資源政策学実習	3後	2		1	1							
森林資源利用学実験実習	3後	2		1	1									
森林環境保全学実験実習	3後	2		1	1									
流域保全実習 ☆	2集中	2										兼1		
			1									教育内容見直しのため単位数変更(22)		
生物多様性保全学実験実習	2集中	2		1	1									
森林測量学実習	3集中	2			1									
森林組合論	3集中	2										兼1		
木材理学	3集中	2										兼1		

☆印の科目は、他のコースと連携協力して開講する科目

(各コース共通・教養教育(基盤教育))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 盤 教 育 科 目	導入科目	スタートアップ・セミナー	1前	2								
	基幹科目	共生を考える	1前・後	2								
		人間を考える	1前・後	2								
	文化と社会	哲学	1前・後		2							
		倫理学	1前・後		2							
		芸術学	1前・後		2							
		文学	1前・後		2							
		言語学	1前・後		2							
		歴史学	1前・後		2							
		地理学	1前・後		2							
		文化論	1前・後		2							
		法学	1前・後		2							
		日本国憲法	1前・後		2							
		政治学	1前・後		2							
		経済学	1前・後		2							
		社会学	1前・後		2							
	心理学	1前・後		2								
	教育学	1前・後		2								
	教養セミナー	1前・後		2								
	自然と科学	数理科学	1前・後		2							
物理学		1前・後		2								
化学		1前・後		2								
生命科学		1前・後		2								
地球環境学		1前・後		2								
科学技術論		1前・後		2								
教養セミナー	1前・後		2									
応用と学際	応用科学	1前・後		2								
	情報科学	1前・後		2								
	生活科学	1前・後		2								
	多文化交流	1前・後		2								
	芸術実技	1前・後		2								
	キャリア形成論	1前・後		2								
	学際・総合	1前・後		2								
教養セミナー	1前・後		2									
山形に学ぶ	山形に学ぶ	1前・後		2								

基盤教育科目	共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語C 英語R	1前・後 1前・後	2 2									
		コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2								
		健康・スポーツ	スポーツ実技	1前・後		1								
			健康・スポーツ科学	1前・後		2								
		情報リテラシー	情報処理	1前・後	2	2							教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(22)	
	展開科目	地域から学ぶ 先輩から学ぶ	2・3・4前 2・3・4後		2 2									

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 35	科目 84	科目 0	科目 119	科目 34 [△1]	科目 83 [△1]	科目 0 [○]	科目 117 [△2]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。 学生への周知方法としては、修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し、オリエンテーションで説明するなどして、周知徹底を図っている。</p>

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<農学部 食料生命環境学科 水土環境科学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	農学入門	1前		2		2 1	1					教育内容充実のため教員追加(22)	
	農学最前線	1前		2		1 2	1					兼3 15 オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)	
	食料生命環境学概論	1前		2		5 6						オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)	
	安全農産物生産学概論	1後	2			9	6					オムニバス	
	食農環境マネジメント学概論	1後	2			4						兼1 オムニバス 教育内容充実のため教員追加(22)	
	食品・応用生命科学概論	1後	2			5	6					オムニバス 教育上支障がないため教員数変更(22)	
	植物機能開発学概論	1後	2			5	3			1		オムニバス	
	森林科学概論	1後	2			6	5			1		オムニバス	
	水土環境科学概論	1後	2			3						オムニバス	
	基礎農学セミナー											教育内容見直しのため科目名称変更(22)	
	基礎農学実習	1集中	2			6							
	専門科目	食料生命環境学実験実習	2前		2		6						
		遺伝学	2前		2			1					
		基礎土壌学	2前		2		2	1					
基礎生態学		2前		2		3	1						
情報処理演習-I		2後		2		1							
		2集中	1									兼1	
キャリア形成論		1集中	2			6						教育内容充実・見直しのため配当年次及び単位数変更、教員追加(22)	
農家体験実習		1集中		2		9	6						
				1								兼1	
雪山実習		2集中		2								教育内容見直しのため単位数変更(22)	
環境保全型エコ農業論		2集中	2									兼3	
教育方法・技術		2集中		2								兼4 教育内容見直しのため専門科目から削除(教職科目として開講)(22)	
インターンシップ(学外実習)		3集中		2		1							
山形フィールド科学-I		1-2-3-4集中		2			3					教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)	
山形フィールド科学-II	1-2-3-4集中		2			3					教育内容見直しのため専門科目から削除(教養教育として開講)(22)		
国際理解(海外研修)	1-2-3-4集中		2		1								
公開森林実習	1-2-3-4集中		1								教育内容充実のため科目追加(22)		
卒業論文	4通	10			30 32	22 23			5 6		人事異動のため(後任補充予定のため問題はない)		
コース必修科目	農村計画学 ☆	2前		2			1	1					
	地球環境論 ☆	2前		2						1			
	生物環境物理学 ☆	2前		2									
	水土環境科学論	2前		2			2	1					
	クリーンエネルギー利用論	2前		2			1						
	応用力学 ☆	2後		2			1						
	農業水理学	2後		2			1						
	河川環境調査論	2後		2			1						
	測量学-I	2後		2			1						
	農地工学	2後		2				1					
	水文学	2後		2						1			
	外国書講読演習	2後		2						1	2		
	水理学	3前		2			1						
	地盤工学	3前		2			1						
	水土環境実験実習	3前		2			3	1			3		
	ストックマネジメント論 ☆	3後		2								兼1	
	プロジェクト実習	3後		2			3	1			3		
水理学演習	3後		2			1				1			
地盤工学演習	3後		2			1				1			
GIS・リモートセンシング演習	3後		2						1				
研究プロセス演習	3後		2			3	1			3			

基盤教育科目	山形に学ぶ	山形に学ぶ	1前・後		2						
	共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語C 英語R	1前・後	2						
		コミュニケーション・スキル2	初修外国語	1前・後		2					
		健康・スポーツ	スポーツ実技	1前・後		1					
			健康・スポーツ科学	1前・後		2					
		情報リテラシー	情報処理	1前・後	2	2					教育内容見直しのため必修科目から選択科目に変更(22)
	展開科目	地域から学ぶ		2・3・4前		2					
先輩から学ぶ			2・3・4後		2						

- (注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき，設置時より変更されているものは赤字で見え直し修正いただき，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 39	科目 79	科目 0	科目 118	科目 38 [△1]	科目 78 [△1]	科目 0 [0]	科目 116 [△2]	

- (注)・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育方法・技術	2	2集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（卒業要件単位とはならないが教職科目として開講）。
2	山形フィールド科学-I	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。
3	山形フィールド科学-II	2	1・2・3・4集中	専門	選択	教育内容見直しのため。代替措置有（教養教育の「山形に学ぶ」として開講）。

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>当該コースの教育課程において特に影響はないと考える。 学生への周知方法としては，修正済みの教育課程を記載した学生便覧を配布し，オリエンテーションで説明するなどして，周知徹底を図っている。</p>

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	山形大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年		
人文学部						1.04		山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
人間文化学科	4	100		400	学士（文学）	1.06	平成8年度		
法経政策学科 （学部共通）	4	200	3年次20	800 40	学士（法学、経済学、政策科学）	1.04	平成18年度		
地域教育文化学部						1.05		山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
地域教育学科	4	80		320	学士（教育学）	1.04	平成17年度		
文化創造学科	4	75		300	学士（学術）	1.10	平成17年度		
生活総合学科	4	85		340		1.02	平成17年度		
理学部						1.04		山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理学科	4	45		180	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.10	平成7年度		
物質生命化学科	4	45		180		1.04	平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.03	平成7年度		
地球環境学科	4	30		120		1.00	平成7年度		
医学部						1.00		山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
医学科	6	125		655	学士（医学）	1.00	昭和48年度		平成22年度入学生定員変更
看護学科	4	60	3年次5	255	学士（看護学）	1.00	平成5年度		平成22年度第3年次編入学定員変更
工学部 （昼間コース）						1.08		山形県米沢市城南四丁目3番16号	
機能高分子工学科	4	110		455	学士（工学）	1.05	平成12年度		平成22年度入学生定員変更
物質化学工学科	4	75		420		1.06	平成12年度		平成22年度入学生定員変更
バイオ化学工学科	4	60		60		1.03	平成22年度		
応用生命システム工学科	4	60		240		1.08	平成12年度		
情報科学科	4	75		315		1.07	平成12年度		平成22年度入学生定員変更
電気電子工学科	4	75		315		1.12	平成12年度		平成22年度入学生定員変更
機械システム工学科	4	115		475		1.10	平成2年度		平成22年度入学生定員変更
（夜間主コース）									
システム創成工学科	4	50		50	学士（工学）	1.10	平成22年度		
物質化学工学科	—	—		—		—	—		平成22年度から学生募集停止
応用生命システム工学科	—	—		—		—	—		平成22年度から学生募集停止
情報科学科	—	—		—		—	—		平成22年度から学生募集停止
電気電子工学科	—	—		—		—	—		平成22年度から学生募集停止
機械システム工学科	—	—		—		—	—		平成22年度から学生募集停止
農学部						1.07		山形県鶴岡市若葉町1番3号	
食料生命環境学科	4	155		155	学士（農学）	1.07	平成22年度		
生物生産学科	—	—		—		—	—		平成22年度から学生募集停止
生物資源学科	—	—		—		—	—		平成22年度から学生募集停止
生物環境学科	—	—		—		—	—		平成22年度から学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 （大学院に係るものについては、記入する必要はありません。）
 ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学生定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学生定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<農学部 食料生命環境学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
32	23	0	6	61	0	30	22	0	5	57	0	
(30)	(22)	(0)	(5)	(57)	(0)	[△2]	[△1]	[0]	[△1]	[△4]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

5 その他全般的事項

<農学部 食料生命環境学科>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成22年10月 1日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

(http://www.yamagata-u.ac.jp/jpn/you/modules/university1/index.php?id=37&yu_m=1_12)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。